



東京広告協会「広告未来塾」

第1期のご案内

「広告未来塾」開講にあたり

この度 東京広告協会の 70 周年事業の一環として「広告未来塾」を開講いたします。この塾は広告界に集う次世代を担う若い人たちが、広告界の最高・最新の知見を学び、将来に渡る人的ネットワークを築いて頂く、東京広告協会ならではの創発と交流の場を提供出来るものと自負しております。

広告界がこれからもイノベーティブで活気に満ちた業界であり続けるため、志の有る皆様からの参加をお待ちしています。

東京広告協会 理事長 大平 明



公益社団法人
東京広告協会
TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION

第1期塾長より

「新しい普遍」を求めて。

今から8年前、映画「サマーウォーズ」の公開2日目、監督の細田守さんを招いた銀座アップルストアでのトークショーで、こう質問させていただいた。「細田監督、物語というのは、どうやって作るんですか？」監督はこう答えてくれた。「須田さん、それは普遍的なものをいかに新しくするか、だけです。」それ以来、この一言がずっと自分の「座右の銘」となっている。

「新しい普遍」、普遍的なものを、いかに新しくするか？それは「物語」に限ったことではなく、「広告」でもまったく同じだと思う。温故知新、不易流行など、様々な言い方があるが、真理はひとつ。人間にとって大事なものは、そう多くない。しかし、時代は刻々と移り変わる。特に、ここ十数年の広告を取り巻く環境の激変ぶりは、すさまじい。その時、未来を迷わないために、必要なものは何だろう？変化と普遍、基本と応用。変わるものと、変わらないもの、両方をしっかりと良く見ることだ。スダラボではそれを「最古×最新」と呼んでいる。

今回「広告未来塾」の第1期塾長の依頼をいただいた時、真っ先に思ったのは、そのことだった。「技術は進化する、人間は進化しない。」「未来のヒントは、いつも過去にある。」自分が広告を志すきっかけをくれた恩師。新人の時に厳しくアイデアを出させた上司。社会人に理想的な学びの場を与える大先達。そして、リスペクトしてやまない、最先端を切り拓くバイオニアたち。自分の「広告人生」の現時点での集大成のような豪華な講師陣が集まった。講師と参加者、また参加者同士が、ここで出会い学び合うことで、お互いに迷わず進めるような「良い場」を作りたいと思います。

須田 和博

(株) 博報堂 ビジネスインキュベーション局エグゼクティブ・クリエイティブディレクター
スダラボ代表/広告新商品開発室メンバー

1990年多摩美術大学 GD 科卒業。アートディレクター、CMプランナーを経て、インタラクティブ領域へ。2014年3月自主開発型クリエイティブ・ラボ「スダラボ」発足。紙～CM～WEBの全てがわかるCDとしてメディアを問わずコンテンツからサービスまで企画制作。2009年アジア太平洋広告祭・サイバー部門審査員。2016年、2017年ACC賞インタラクティブ部門・審査委員長。



テーマ

全体テーマ 『広告の未来のカタチ』

各回テーマ

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| 【第1回】 10/25 (水) 「IoT時代の広告のカタチ」 | 須田 和博 (博報堂) |
| 【第2回】 11/22 (水) 「広告の基本 (仮)」 | 中島 祥文 (クリエイティブディレクター) |
| 【第3回】 12/13 (水) 「テクノロジーとイノベーション (仮)」 | 齋藤 精一 (ライゾマティクス) |
| 【第4回】 1/17 (水) 「グローバル・マーケティングのポイント」 | 大石 芳裕 (明治大学経営学部) |
| 【第5回】 2/20 (火) 「プラットフォームとして (仮)」 | 横澤 大輔 (ドワンゴ) |
| 【第6回】 3/16 (金) 「アイデア」 | 宮崎 晋 (博報堂) |

第2回 「広告の基本 (仮)」

中島 祥文

アートディレクター、クリエイティブディレクター

1944年名古屋生まれ。J・W・トンプソン（1979年制作局長）などを経てウエーブクリエイション設立。2001年～11年、多摩美術大学グラフィックデザイン学科教授・学科長、2011年より名誉教授。東京アートディレクターズクラブ会員最高賞ほか受賞多数。主な仕事に、渋谷ヒカリエロゴデザイン、東急プラザロゴデザイン、ウールマーク他多数。著書に「考えるデザイン 中島祥文・24のデザイン発想」（2009）など。



第3回 「テクノロジーとイノベーション (仮)」

齋藤 精一

(株)ライゾマティクス 代表取締役、ライゾマティクスアーキテクチャー主宰

1975年生まれ。コロンビア大学建築学科で建築デザインを学び、2000年からニューヨークで活動を開始。2006年にライゾマティクスを設立。建築で培ったロジカルな思考を基に、アート、コマーシャルの領域で立体・インタラクティブ作品を多数制作中。2013年D&AD Digital Design部門審査員、2014年カンヌライオンズBranded Content and Entertainment部門審査員。



第4回 「グローバル・マーケティングのポイント」

大石 芳裕

明治大学経営学部教授

1952年生まれ。日本流通学会元会長・現理事、国際ビジネス研究学会常任理事、グローバル・マーケティング研究会代表世話人など。「現場発のグローバル・マーケティング」を信条とし、年間6～10カ国を回り、40社程度の現地法人や現地企業を訪問中。『実践的グローバル・マーケティング』『グローバル・マーケティング零』（2017年5月刊・編著）など著書・論文多数。



第5回 「プラットフォームとして (仮)」

横澤 大輔

(株)ドワンゴ 専務取締役CCO

株式会社ドワンゴのコンテンツ戦略担当。ニコニコ動画公式生放送を立ち上げ、生放送のプロデューサーとしてネット初の党首討論会、15万人を集めるニコニコ超会議などの様々なイベント、新規事業を手がける。近年では、日本の伝統芸能・歌舞伎とネットカルチャーを融合させた「超歌舞伎」の総合プロデューサーも務めた。



第6回 「アイデア」

宮崎 晋

(株)博報堂 顧問 チーフクリエイティブオフィサー

1945年生まれ。入社以来、クリエイティブ畑。日清食品「Hungry?」シリーズでカンヌグランプリ、ADC賞、TCC最高賞など。新潟市、金沢市など都市デザインも手掛ける。



概要

- 対 象** 会員社、非会員社・一般の、若手/中堅層（20代～30代）
- 開催日** 2017年10月25日、11月22日、12月13日、2018年1月17日、2月20日、3月16日
- 時 間** 19時～21時
講師・受講者同士の交流のため、終了後に懇親会の開催を数回予定しております。
(実費負担数千円程度。詳細は受講者様にご連絡いたします。)
- 会 場** 電通銀座ビル 8F会議室
- 受講料** 会員社様 25,000円/6回分 非会員社様・一般 30,000円/6回分
6回通しのみ、1回のみ参加受付はございません。
開講中の参加者の変更は、やむを得ない場合を除いてご遠慮ください。
- 定 員** 50名
応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。※先着順ではありません。
- 申 込** 東京広告協会ホームページよりお申込みください。
<http://www.tokyo-ad.or.jp/>
9/22 申込受付開始
10/10 応募〆切・抽選結果ご連絡 受講証及び請求書発送
- お支払** 受講証及び請求書をお受け取りになりましたら、受講料を銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は受講者負担をお願いします。
受講料振込以降のキャンセルの場合、返金いたしかねますのでご了承ください。
- 問合せ** 公益社団法人東京広告協会
広告未来塾担当 石川ひとみ
〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル7F
TEL : 03-3569-3566
MAIL : miraijyuku@tokyo-ad.or.jp